eastspring investments

A Prudential plc (UK) company

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

プロダクトガバナンスに関する取組状況

2024年4月～2025年3月

英国プルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているプルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるプルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。

目次

取組状況

方針1　プロダクトガバナンス基本理念の制定　3

方針2　プロダクトガバナンス体制の整備　4

方針3　プロダクト組成時の取組み　5

方針4　プロダクトの組成後の取組み　6

方針5　分かりやすい情報提供　7

各方針の詳細については、当社HPに掲載の「プロダクトガバナンスに関する取組方針」をご参照ください。

方針1
プロダクトガバナンス基本理念の制定

補充原則1*「基本理念」に対応

当社は、経営陣のリーダーシップの下、プロダクトガバナンス基本理念を取締役会にて定めています。この基本理念に基づき、お客様の長期的な利益に資するプロダクトを継続的に提供するためのガバナンスを構築し実践します。
また、「プロダクトガバナンスに関する取組状況」の作成に当たっては、専門部署ではなく社内各部署横断的なプロジェクトチームを中心にすべての部署が参加し、全社的に取組状況についての振返りを行っています。

取組状況の振返り
方針1

当社は、2024年7月の顧客本位の業務運営に関する原則（改訂案）の公表を受け、8月の取締役会において、「プロダクトガバナンス基本理念」制定の重要性について議論を行い、基本理念の制定を含むフレームワークについての検討を開始しました。
その後、これまでの当社のプロダクトガバナンスに関する考え方を総括した、「プロダクトガバナンス基本理念」および「プロダクトガバナンスに関する取組方針」を定め、2025年7月の取締役会で承認を受けて開示しています。

*原則：金融庁「顧客本位の業務運営に関する原則」（2024年9月26日改訂）の補充原則1～5との対応関係を示しています

方針2
プロダクトガバナンス体制の整備

補充原則2「体制整備」に対応

当社は、プロダクトガバナンスの実効性を確保するために、プロダクトガバナンス体制を整備し、プロダクトガバナンスの枠組みを強化することで、お客様に対し、より信頼性の高い投資機会を提供します。また、市場環境が変化し続ける中で、お客様の資産運用ニーズに的確に応え、長期的な資産形成に貢献できるよう、ガバナンス体制を柔軟かつ持続的に進化させます。

取組状況の振返り

方針2-1

＜プロダクトガバナンス委員会＞

- プロダクトガバナンス委員会（2020年にファンド・ガバナンス委員会として設置）は当該期間で合計4回開催され、商品委員会で審議・承認された議案、関連する商品の目論見書改訂内容、サービスプロバイダーとの契約内容、日本株の議決権行使結果等について、パフォーマンス、コスト、サービス等の観点から検証・提言を行いました。
- 2024年11月には、グローバルに展開する大手監査法人をアドバイザーとして迎え、外部の専門的な知見を検証に活かす体制を構築しました。

（補充原則2．注1＆注2に対応）

方針2-2

＜商品委員会＞

- 商品委員会は、毎月の定例開催に加え、審議・承認内容に応じて臨時での開催を行うなど、お客様にプロダクトを提供する上で、必要な検証・審議・承認をタイムリーに行っています。

（補充原則2．注1に対応）

方針2-3

＜投資運用委員会＞

- 投資運用委員会では、定期的デューディリジェンス結果報告を受け、運用再委託先や投資信託証券の組入れの適切性について確認しました。
- 投資運用委員会では、ポートフォリオの状況や流動性リスクを含むポートフォリオリスク、運用パフォーマンスについて毎月報告を受け、状況を把握し、対応の要否についても確認しました。
- 運用改善策をすでに講じているファンドについては経過を監視しました。

（補充原則2．注1に対応）

方針3
プロダクト組成時の取組み

補充原則3「金融商品の組成時の対応」に対応

当社は、プロダクトのライフサイクルを通じたガバナンスの一環で、新たなプロダクトの組成を前に、運用目的や想定する投資家層、お客様のニーズを想定した上で、組成するプロダクトの持続可能性や合理性など様々な観点から検証を行います。

取組状況の振返り

方針3-1

複数の新戦略案の提案開始にあたり、運用戦略の概要や過去の実績、実際に運用開始する前に検討すべきこと、想定する投資家層などを確認した上で、お客様にご紹介しました。

（補充原則3．注1＆注2に対応）

方針3-2

2025年2月に、低コストアクティブファンド、+αシリーズの新ファンドとして「イーストスプリング・インド国債ファンド（3ヵ月決算型）／（年2回決算型）愛称：+αインド国債」の提供を開始しました。提供にあたっては、高い成長が期待されるインドの、相対的に高い利回りからのインカム収入をお求めのお客様を想定し、日本の公募ファンドで唯一のインド国債に特化したオンライン専用ファンド（2025年2月末時点）となっています。

2025年3月には適格機関投資家専用の日本中小型株運用の私募ファンドを設定するなど、機関投資家のお客様向けの運用戦略の提供にも注力しています。

（補充原則3．注1＆注2に対応）

方針3-3

運用再委託先と合意した「イーストスプリング・インド国債ファンド（3ヵ月決算型）／（年2回決算型）愛称：+αインド国債」の投資ガイドラインを投資運用委員会にて承認しました。

適格機関投資家専用の日本中小型株運用の私募ファンドの流動性リスク評価結果について投資運用委員会にて承認しました。

（補充原則3．注1に対応）

方針3-4

当社が提供している毎月分配型ファンドについて、想定する投資家層を改めて確認し、投資信託協会を通じて販売会社に連携しました。

（補充原則3．注3に対応）

方針4
プロダクトの組成後の取組み

補充原則4「金融商品の組成後の対応」に対応

当社は、プロダクトのライフサイクルを通じたガバナンスを重視し、プロダクトの組成後も、定期的なレビューを行います。その際、組成当初に想定した商品性が維持されているかなど、様々な観点から検証を行い、必要なアクションを講じます。

取組状況の振返り
方針4-1、**方針**4-2

2023年7月に設定した公募ファンドが1年経過したことに伴いレビューを行い、販売会社との情報連携を通じて、概ね当初想定した投資家層を中心にご購入いただいていることや運用目的に沿った運用が行われていることを確認しました。

年に1回の年次ファンドレビューを実施し、ファンドが想定している商品性やリターンをお客様に提供できているか、想定する投資家層を特定し適切な情報をお伝えできているかなどを含め多角的な検証を行いました。その結果、純資産総額の減少により運用に支障が出ているファンドについて繰上償還を検討する等、対応が必要と考えられる一部ファンドを特定し、アクションを起こしています。

（補充原則4．注1＆注3に対応）

方針4-3

投資運用委員会において以下について議論・確認しました。

- 四半期に一度、過去1年の超過収益がマイナスとなったファンドを取り上げ、分析結果を報告し、パフォーマンス改善に向けたアクションの要否を議論しました。この議論を年に4回継続的に行うことで、経営陣にとってもファンドの特性や課題および進捗の把握が可能となります。
- 運用体制が変更となったファンドについて、運用の継続について問題ないことを確認しました。
- 運用の改善が必要と考えられるファンドについて、運用再委託先が提示した運用改善策を検証の上、経過についてモニタリングを継続しており、今後も効果について監視します。

（補充原則4．注1＆注3に対応）

方針4-4

毎月分配型ファンドにつきまして、当社より投資信託協会を通じて販売会社に、想定する投資家層の情報を連携しています。今後、販売会社から実際に購入いただいた投資家層の情報連携を受ける予定となっており、その情報を分析した結果を販売会社に還元し、より良いファンドの提供に活かします。

（補充原則4．注2に対応）

方針5
分かりやすい情報提供

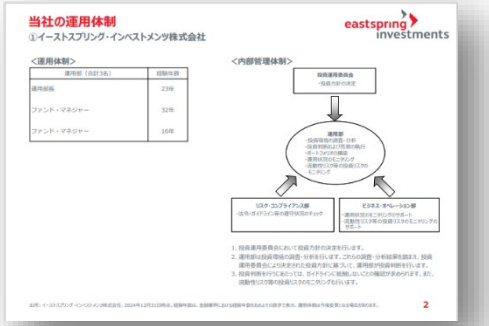
補充原則5「顧客に対する分かりやすい情報提供」に対応

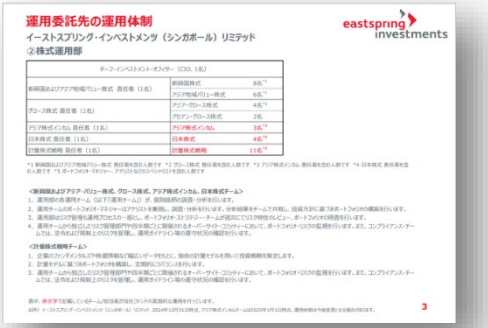
当社は、お客様に、当社の運用する個々のプロダクトや戦略についてご理解いただき、より良いプロダクトを選択いただけるよう、運用体制やプロダクトガバナンス体制について分かりやすい情報発信に努めます。

取組状況の振返り
方針5-1

当社が設定・運用するファンドに係る運用体制については、各ファンドの請求目論見書に加え、当社ウェブサイトでも公開しています。また、目論見書に運用委託先の概要や運用資産額、運用委託先との連携方法等の情報を半期ごとに更新し開示しています。

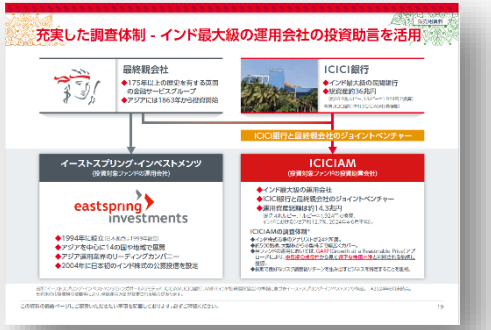
例：当社ウェブサイト「当社の運用体制」





また、運用に特徴があり、運用体制に関する情報がお客様の商品選択において重要と思われるファンドでは、販売用資料でも詳しく紹介しています。

例：イーストスプリング・インド消費関連ファンド



イーストスプリング・ジャパン中小型厳選バリュー株ファンド

（補充原則5．注1に対応）

方針5
分かりやすい情報提供

補充原則5「顧客に対する分かりやすい情報提供」に対応

取組状況の振返り
方針5-2

2025年より当社ウェブサイトにおいて、「プロダクトガバナンスに関する取組方針」および、その取組状況についての振返りを掲載し、お客様への情報発信に努めています。
また、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社 – YouTube公式チャンネルでは、インド現地の市場環境やインド株ファンドの運用状況振返りなど、様々な情報を定期的に配信しています。
X（旧Twitter）では、レポートや動画配信時にアナウンスも行っています。

例：YouTube　インド投資マンスリー2025年1月号
（インド運用拠点CIOが語るインド株式市場2024年の振返りと2025年の見通し）

インド投資マンスリー2025年1月号
（インド運用拠点CIOが語るイン...

例：YouTube 「インド・インフラ株式ファンド」のご紹介

「インド・インフラ株式ファンド」のご紹介

（補充原則5．注2に対応）